

歩行路用電波吸収体

アンテナ用電波暗室では床を含めた6面全てにピラミッド型電波吸収体を敷設します。このため、試験体の設置や設定をする場合、歩行スペースを確保するために電波吸収体を移動する必要が生じます。

歩行路用電波吸収体は床面に敷設する電波吸収体そのものの上に人が乗れるような構造にしたものです。

写真1はEC-SORB VHP-FLの外観ですが、図1のように、VHPタイプの吸収体が内部にある構造で、上部や側面にEPE（発泡ポリエチレン）、クッション材としてEPP（発泡ポリプロピレン）、補強材としてEPS（発泡ポリスチレン）のように電波を透過しやすい材料を用いています。

耐荷重は $1\text{kg}/\text{cm}^2$ で歩行路1個辺り（ $60.6(\text{W}) \times 60.6(\text{L})\text{cm}$ ）で500kg以上ですので、歩行路として必要な実用強度を十分に満足するものです。図2は吸収性能の代表例を示します。

歩行路として用いる場合には、大体10個に1個の割合で、帯電防止用歩行路（反射はやや大きくなる）を使用します。



写真1



EC-SORB® VHP-FL



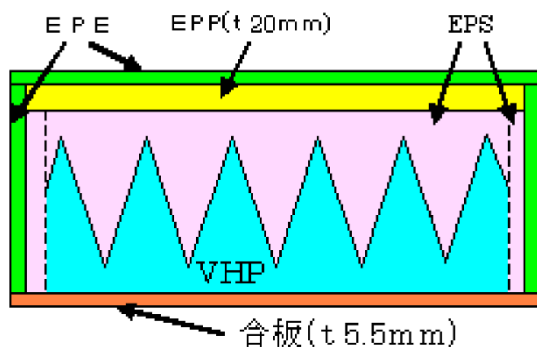


図1 EC-SORB® VHP-FLの構造

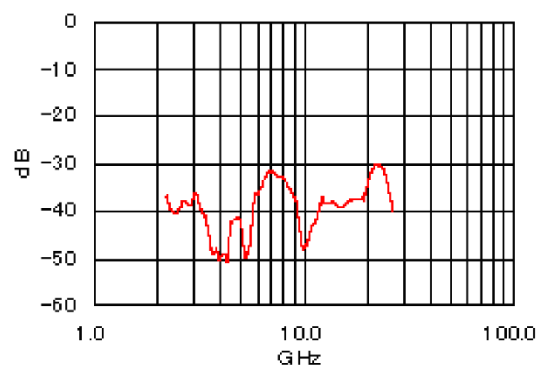


図2 反射減衰量 (VHP-18FL : 代表値)

	高さ (mm)	横(mm)	質量(kg)
4FL	188	606x606	4.0
8FL	277	606x606	4.7
12FL	380	606x606	5.3
18FL	535	606x606	7.6
26FL	746	606x606	9.7

表1 EC-SORB® VHP-FLのサイズ

※商品は改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので予めご了承下さい。

保証事項

この技術資料に記載された情報は、信頼性のあるものですが、法律的な責任を伴う保証事項ではなく、またライセンスなしに特許発明の許可あるいは推奨とみなされるものでもありません。

本資料中の情報は、研究・調査・検査のために提供されるもので、ご検討・ご確認の資料としてご利用ください。